

Nannophya pygmaea

駒ヶ根市の昆虫

ハッチョウトンボとは



実物大の雄とヤゴ

駒ヶ根市の昆虫に指定されているハッチョウトンボを見たことがありますか。

ハッチョウトンボの大きさは1円玉と比べてみるとわかりますが、世界で最も小さい部類に属するトンボです。もちろん、日本では最小のトンボです。

ハッチョウトンボが生息する環境は限られています。それは、一年を通して水が浅く張った陽当りのよい場所です。

駒ヶ根市周辺では、5月上旬から羽化が始まり9月上旬まで観察することができます。

羽化したばかりのハッチョウトンボは、雄も雌も褐色の体に縞模様があっすらとあります。

でも…雄はだんだん鮮やかなアカネ色に変化していきます。

「ハッチョウトンボを育む会」の沿革

ハッチョウトンボが生息する南割公園は、中央自動車道を造る際の盛り土を採取するため、山麓部の斜面を削ってできた場所です。

ハッチョウトンボは、山麓部から湧き出た水によってできた湿地帯に近くの生息地から飛来し、棲みつきました。この場所で最初にハッチョウトンボが確認されたのは1988年。

その後、ハッチョウトンボに想いを寄せる人たちによって静かに見守られてきました。そんな折、この公園内に球場建設の計画が持ち上がりました。そこでこれを機会に、駒ヶ根市民にハッチョウトンボを広く公開し、環境保全への意識を高める中で保護していこうということになりました。

1999年10月に「ハッチョウトンボを育む会」が結成され、毎年、生息地の整備をし、観察会や希少動植物の保護と普及活動を行っています。

ハッチョウトンボの羽化の様子



羽化25分後



羽化1時間後

羽化後の体色の変化

雄 ♂

雌 ♀

1日後



オレンジ色がはっきりしてくる



腹部のトラ斑模様は、まだはっきりしない

5日後



腹部にあるオレンジ色の2本の腹線がはっきりしてくる



複眼は黒っぽくなり、トラ斑模様がはっきりしてくる

成熟個体



ハッチョウトンボの羽化の様子



羽化25分後



羽化1時間後

羽化後の体色の変化

雄 ♂

雌 ♀

1日後



オレンジ色がはっきりしてくる



腹部のトラ斑模様は、まだはっきりしない

5日後



腹部にあるオレンジ色の2本の線がはっきりしてくる



複眼は黒っぽくなり、トラ斑模様ははっきりしてくる

成熟個体



生息地のご案内



中央アルプスの自然に抱かれて生息する
ハッチョウトンボ
駒ヶ根



ハッチョウトンボを育む会

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂 14-379

TEL 090-6562-3017 (事務所)

http://www.cek.ne.jp/~haccho-tombow/

ハッチョウトンボを育む会

駒ヶ根市の昆虫

ハッチョウトンボ

とは



実物大の雄とヤゴ

駒ヶ根市の昆虫に指定されているハッチョウトンボを見たことがありますか。

ハッチョウトンボの大きさは1円玉と比べてみるとわかりますが、世界で最も小さい部類に属するトンボです。もちろん、日本では最小のトンボです。

ハッチョウトンボが生息する環境は限られています。それは、一年を通して水が浅く張った陽当りのよい場所です。

駒ヶ根市周辺では、5月上旬から羽化が始まり9月上旬まで観察することができます。

羽化したばかりのハッチョウトンボは、雄も雌も褐色の体に縞模様がうっすらとあります。

でも…雄はだんだん鮮やかなアカネ色に変化していきます。

「ハッチョウトンボを育む会」の沿革

ハッチョウトンボが生息する南割公園は、中央自動車道を造る際の盛り土を採取するため、山麓部の斜面を削ってできた場所です。

ハッチョウトンボは、山麓部から湧き出た水によってできた湿地帯に近くの生息地から飛来し、棲みつきました。この場所で最初にハッチョウトンボが確認されたのは1988年。

その後、ハッチョウトンボに想いを寄せる人たちによって静かに見守られてきました。そんな折、この公園内に球場建設の計画が持ち上がりました。そこでこれを機会に、駒ヶ根市民にハッチョウトンボを広く公開し、環境保全への意識を高める中で保護していこうということになりました。

1999年10月に「ハッチョウトンボを育む会」が結成され、毎年、生息地の整備をし、観察会や希少動植物の保護と普及活動を行っています。

ハッチョウトンボの羽化の様子



羽化25分後



羽化1時間後

羽化後の体色の変化

雄



雌



1日後



オレンジ色がはっきりしてくる



腹部のトラ斑模様は、まだはっきりしない

5日後



腹部にあるオレンジ色の2本の線がはっきりしてくる



複眼は黒っぽくなり、トラ斑模様がはっきりしてくる

成熟個体



南割公園の動植物

トンボの仲間



産卵する
クロスジギンヤンマ(雌)

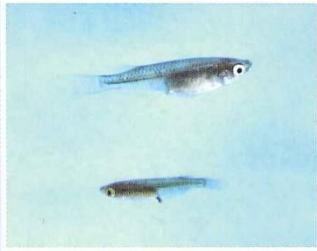


光り輝く羽
チョウトンボ(雄)



真っ赤な猩々色をした
ショウジョウトンボ(雄)

水中の生物



絶滅危惧種となった
メダカ



あお向けに泳ぐ
マツモムシ



卵を背負い保護する
コオイムシ(雄)



表面張力で浮く
アメンボ



基盤整備で少なくなった
ドジョウ



泡の中の
シュレーゲルアオガエル(卵塊)

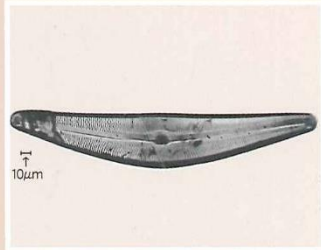
希少植物



絶滅危惧種(花期8月上旬~10月中旬)
ミスオオバコ



食虫植物(花期7月中旬~8月下旬)
モウセンゴケ



日本一大きい珪藻
クチビルケイソウ

